

資料名	おかえりなさい	出典	中学校 道徳の学習 2
主題名	思いやりの心	内容項目	2 - (2)
日時		学年	2 年

○ 主題設定の理由

・主題観

思いやりの心は、自分が他に能動的に接するときに必要な心の在り方である。すなわち、他の人の立場を尊重しながら、親切にし、いたわり、励ます生き方として現れる。中学校の時期は思いやりの心の大切さを理解できるようになる。しかし、人間的な触れあいが少なくなっている社会環境と、互いを思い合う人間関係の欠如から、利己的、自己中心的になりやすく、他を省みない行動をとる傾向がみられる時期であるといえる。したがって、この時期に身近な人の中で、思いやりのある人について考えたり、思いやりを受けた経験を振り返ったりすることは有意義なことである。学年でも自然教室や合唱コンクール等の学校行事を通して、つながりを深める経験を1年生より継続してきた。少しずつ身近な友人に優しく接する生徒が増えているが、わがままを貫こうとしたり、哀れみや同情で友人に接したりする生徒も少なくない。思いやりの心をさらに高めてほしいという願いから、本主題を設定した。

・生徒の実態

小学校からの友達関係が変わらず、気心が知れた間柄ではある。しかし、グループ化しており、つながりが少ない友人に対して関心を持つとしない。本学級の4月当初の感想として、仲のよい友人がいないと感じていた生徒がおり、班編成の時も配慮が必要であった。活動の意欲にあふれる生徒が多いが、友人の気持ちを考えずに行動を起こそうとする場面があるので、周りの生徒の気持ちを考えさせることが必要となる。様々な学校生活の活動で思いやりの心を持ち、友人にさらに優しい気持ちで接する経験を通して、つながりをさらに深めていく道徳的実践が必要と考える。

・資料観（指導観）

指導にあたってはまず、挨拶をしてよかったと思えることは何だろうかを考えさせ、そのときの自分の気持ちを想起させる。次に資料「おかえりなさい」を読み、「こんにちは」から始まる主人公の気持ちの変化を確認する。さらに主人公はどんな人物であるかを考えさせることで、思いやりの心があることを実感させる。最後に思いやりのある人はどんな人か、またどんなところかを考えさせることで、自分にも思いやりの気持ちがあふれていることに気付かせたい。また、思いやりの心は心が通いあった、対等な人間関係の中から生まれることもおさえたい。

ねらい	思いやりの心を高めよう。
-----	--------------

資料準備物	資料「おかえりなさい」プリント
-------	-----------------

板書計画	<table border="1"> <tr> <td>めあて</td> <td>思いやりの心を高めよう</td> </tr> </table>	めあて	思いやりの心を高めよう	○主人公は図書館に行かなかったとき、どんなことを考えていたのだろうか？
	めあて	思いやりの心を高めよう		
<p>○あいさつしてどんな気持ち？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心が気持ちよくなった。 ・相手と親しくなり、うれしかった。 ・挨拶を返してくれてうれしかった。 <p>○「こんにちはのおねえちゃん」で主人公はどんな気持ち？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのことを気にとめていてくれたんだ。 ・お母さんに見られていて恥ずかしいなあ。 ・挨拶をし続けてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「こんにちは」の挨拶は、当たり前のことなのに。 ・お母さんの「ありがとう」はどういうことなのか。 ・男の子のことがすごく気になる。 <p>○主人公のどんな気持ちが図書館に向かわせたのだろうか？</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり、男の子のことがすごく気になるから。 ・男の子に会いたい。 ・心が通いあっているから。 			

[展開]

	学習活動・内容, 生徒の反応	支援を主にした働きかけ	配時
導 入	<p>1. 本時の学習内容を確認する。</p> <p>「こんにちは」などの挨拶をして、どんな気持ちになりましたか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の心が気持ちよくなった。 ・相手と親しくなり、うれしかった。 ・挨拶を返してくれてうれしかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・体験談については、あまり深入りせず、本時のねらいについて考えられるように方向付けを行う。 	5分
展 開	<p>2. 今日のみえあてを知る。</p> <p>「思いやりの心を高めよう」</p>		1分
	<p>3. 資料「おかえりなさい」を読み、考える。</p> <p>(発問1)</p> <p>男の子が、お母さんに「こんにちはのおねえちゃん」と言っているのを聞いたとき、主人公はどんな気持ちだったのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・わたしのことを気にとめていてくれたんだ。 ・お母さんに見られていて恥ずかしいなあ。 ・挨拶をし続けてよかった。 	<ul style="list-style-type: none"> ・何気ない一言が、男の子を勇気付けていたことにふれる。 	10分
	<p>(発問2)</p> <p>主人公は図書館に行かなかったとき、どんなことを考えていただろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「こんにちは」の挨拶は、当たり前なことなのに。 ・お母さんの「ありがとう」はどういうことなのか。 ・男の子のことがすごく気になる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・なぜ、何気ない一言が、男の子やお母さんの気持ちに大きな影響を与えていたのかを考えさせる。 	10分
	<p>(発問3)</p> <p>主人公のどんな気持ちが図書館に向かわせたのだろうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり、男の子のことがすごく気になるから。 ・男の子に会いたい。 ・心が通いあっているから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主人公の心境の変化を考えることを通してお互いの思いやりの心があることを気付かせ、ねらいに迫る。 	10分
終 末	<p>4. 教師の体験談を聞き、日頃の自分を振り返る。</p> <p>あなたの「思いやり」に対して考えたことや体験したことを書こう。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・身近な人の中に「思いやり」のある人の存在を振り返らせ、具体的に考えさせる。 ・自己評価、感想を見て生徒の心の変化を見る。 	10分
関 連	<p>5. 本時のまとめを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校行事、学級活動の諸活動に関連している。 ・総合的な学習の時間の福祉に関連している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・「思いやり」は、哀れみや同情ではなく、心の通いあった対等な人間関係の中から生まれることを押さえる。 	4分